

提言第10号 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析

事例5

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代。肺血栓塞栓症で入院中。腹部手術歴あり。パーキンソン病治療中。
- ・ 便潜血検査陽性のため、大腸内視鏡検査が予定された。
- ・ 検査前日、ピコスルファートナトリウム10 mL を服用したが反応便なし。検査当日、モビプレップ1,000 mL と水600 mL を服用したが反応便なし。追加でモビプレップ 600 mL を服用したが、腹痛、嘔吐あり、意識レベルが低下した。腹部CT 検査で腸管穿孔を認め、緊急手術を実施したが、翌日死亡した。緊急手術時に直腸に全周性の腫瘍を認めた。
- ・ 死因は、穿孔性腹膜炎、敗血症性ショック。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。